



毎月2回1日・15日発行

広報

KUSHIMA

12

DECEMBER.2011
No.900



赤池溪谷にて

Special feature



- 特集1 災害へ備える心をつくるサイン
- 特集2 ゆめ 二輪 駆ける男たち
- 特集3 錦秋の美術展「第16回串間市美術展」
- 特集4 新串間創造の第一歩

災害へ備える心を つくるサイン

災害時、正しく避難するには自分の住んでいる地域の地形を知ることが重要です。地形の指標の一つである海拔を知り、災害への心構えを持ちましょう。

串間市建築士会青年部部長
加藤弘明さん



海拔とは海水面を0mとしたときの山や陸地の高さのことです。海拔の低い場所は、地震などの災害時に、津波などの水害に遭う可能性が高くなります。海拔を知ることが、避難が必要などき、どちらの方向に避難すればよいかの大事な指標の一つです。しかし、自分がいる場所の海拔を調べるのは大変です。そこで、串間市建築士会青年部の皆さんを中心に、市と協働で、市街地や沿岸部などに海拔表示のサインを今年、設置しました。普通の看板や標識とは違い、情報を伝えながらも、風景と調和する表示ということをテーマとしたものが、このサインです。この機会に災害の視点から、お住まいの地域への理解を深めてみませんか。

今回の海拔表示サイン設置のきっかけとなったのは、やはり東日本大震災です。震災後の青年部の会議で子どもたちに、災害への心構えを持つきっかけ作りとなるような取り組みを行おう、という意見が出ました。そこでまず、小中学校や保育園などへの海拔表示のサイン設置を行いました。その後、市役所総務課の危機管理係の方から、避難所などへの

海拔表示に協力してほしいとの話があり、市内の31カ所に海拔表示サインを設置しました。市からは材料費を提供してもらい、作成、設置は建築士会青年部が担当しました。すべてボランティアでの活動でしたのでとても苦労しました。しかし、青年部の全員が熱意をもって設置作業に当たり、今ではやりとげた達成感を感じています。

地震や津波などはいつ起きるか分かりません。そのため大事なことは、普段から災害に備える心構えをもつことです。この海拔表示を見ることが、市民の方が「今、自分はこのような場所にいるのか」「災害時にはどちらに向かっただけで避難すればいいのか」などを考えるきっかけとなってくることが大事なことだと思っています。

宮崎県建築士会まちづくり委員
河野秀親さん



今回、建築士会青年部の皆さん

が作った海拔表示サインのデザインを担当しました。デザインするにあたって気をつけたことは、人の目につきやすく、景観と調和することです。実は今回の海拔表示サインは、平成21年度に都井岬に設置した観光案内の表示と同じデザイン方法を使っています。サインを見てもうれば分かりませんが、茶色の本体に白で文字を書くという方法です。形は周囲の状況に合わせて変更していますが、色合いが一番、景観に溶け込むと同時に人の目にも留まります。また、ただ海拔を伝えるだけでなく、市内の景観向上にも貢献できるように統一感が出るデザインにしています。

今回の海拔表示サインの設置は、景観と調和する先駆的な取り組みです。また、土台をあえて作らない環境に配慮した設置物という点でも今までにない取り組みとして、宮崎県内で串間が注目されています。実際、県庁の方から問い合わせがあったり、他の市が串間の海拔表示を参考にしたりするなど、反響が起きています。このことがきっかけとなって、串間の活性化に少しでもつながってくれようという思いです。



① 海拔8m 市役所



② 海拔24m 総合運動公園



③ 海拔20m 総合体育館



⑦ 海拔17m 福島高校



⑫ 海拔3m 金谷小学校



⑬ 海拔26m 北方中学校



⑫ 海拔11m 港公民館



⑫ 海拔16m 市木中学校



④ 海拔20m 中央公民館



⑧ 海拔3m 有明小学校



⑬ 海拔24m 望洋の郷



⑬ 海拔3m 本城支所



⑬ 海拔10m 都井支所



⑬ 海拔9m 市木公民館



⑤ 海拔14m 福島小学校



⑨ 海拔6m 木代公民館



⑭ 海拔2m 下弓田公民館



⑬ 海拔28m 本城小学校



⑬ 海拔9m 都井小学校



⑬ 海拔4m 藤公民館



⑥ 海拔16m 福島中学校



⑩ 海拔4m 高松公民館



⑮ 海拔10m 正国寺



⑮ 海拔34m 本城中学校



⑮ 海拔13m 都井中学校



⑮ 海拔4m 石波公民館



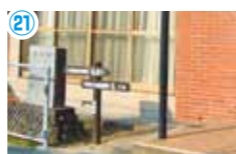
⑪ 海拔10m 常照寺



⑮ 海拔4m 北方小学校



⑮ 海拔3m 下千野公民館



⑮ 海拔11m 市木小学校



⑮ 海拔13m こぼと幼稚園

夢はいつか鈴鹿サーキット・8時間耐久レースに参戦すること。『team 串間』結成。

ゆめ 二輪 駆ける 男たち



給油のタイミングも重要。レース展開を左右する。

『Team 串間』

- 監督=鬼塚陽平(有明2区)
- メカニック=河野洋平(西浜)
- ヘルパー=岩下裕志(寺里)、岩下正和(西塩町)、鈴木稔(笠祇)、小森田浩二(上小路)
- ライダー=堀透(上塩)、前田力也(有明2区)、清水友博(揚原)
- チームスポンサー=Snap-on(日南市)



表彰式の様子。



『team 串間』の皆さん(上段左から清水さん、前田さん、堀さん。下段左から下田さん、河野さん、鬼塚さん、小森田さん、鈴木さん)。普段の活動はツーリング。メンバー募集中とのこと。

名前前に決定しました。「かっこいい候補名は他にもあったけど、結局は全員一致でこれに決まりました」と監督の鬼塚さん。小森田さんは「串間をPRしたいと思って。レースのチーム紹介では、イルカランドと都井岬をしっかりとPRしました」と笑います。無骨な男たちの意外な一面です。

そんなメンバーには大きな夢があります。「いつか鈴鹿サーキットの8時間耐久レースに出たい。かなわない夢かもしれないけど、やる前からあきらめたら人生つまらないから」と小森田さん。

そんな熱い思いに支援者も現れました。工具メーカー『Snap-on』の下田益士さん(日南市在住)がチームスポンサーを受諾。チームは強い味方を得、次なる目標を定めました。来年3月、MFJ(財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会)公認レース『九州地方ロードレース選手権』に参戦することです。

夢に向け、一歩踏み出したばかりの『team 串間』。大きく羽ばたき、その名を全国に轟かせてほしいものです。

市内在住の二輪愛好家9人で結成した『team 串間』(メンバー構成は5ページ)。正式にチームを結成するまでは、ツーリングを楽しむ仲間でした。ところが今年5月、堀さんの呼びかけで同レースへの参戦が決定。急ぎよ、監督やメカニック、ライダーなどの役割を分担し、体制を整えていきました。

そして肝心のチーム名。数多の候補の中から10月初旬、ようやくこの

わが町への想いを名前こ

熊本のサーキット場HSR九州で10月23日、2輪4時間耐久レース『2011ドリウムカップ秋耐久フェスタ』がありました。

串間市から『team 串間』がS400クラス(排気量400cc以下の市販スポーツ車)にエントリーし、3位表彰台に輝きました。



3位表彰杯。傾く夕陽に美しく輝く。

錦秋の美術展

色鮮やかに

深き秋を色鮮やかに彩る串間市美術展。
今年で16回を数えました。
書道・写真・絵画の全3部門で『特選』と『新人賞』
に輝いた作品を写真でご紹介します。

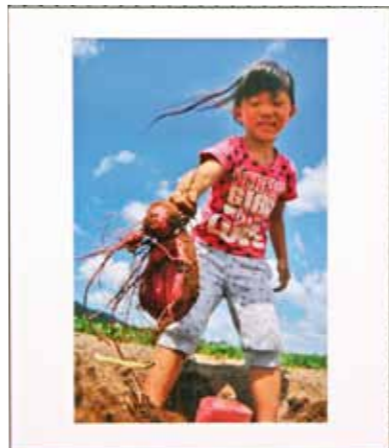
第16回
串間市美術展



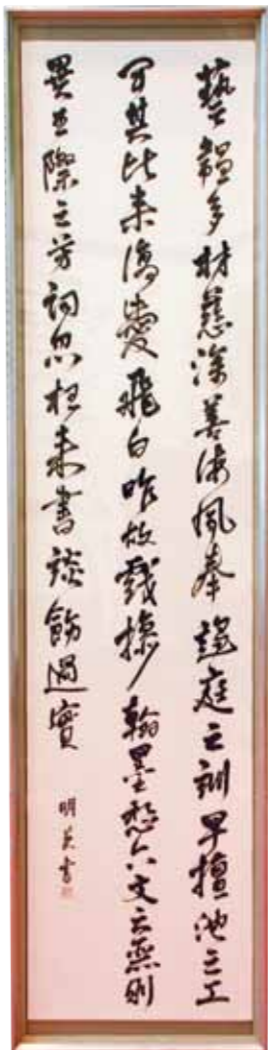
●絵画特選「からすうり」 西村幸子さん



●書道特選「杜甫詩」 永友美季さん



●写真特選「ベスト」 黒木和也さん



●書道新人賞「漢詩」 神村明美さん



●写真新人賞「あん時の…」 城 弘さん



●絵画新人賞「木漏れ日」 森岡弘子さん

11月17日から23日までの7日間、串間市文化会館で『第16回串間市美術展』が開かれました。書道・写真・絵画の3部門にそれぞれ、21点・39点・20点(計80点)の出品があり、会場を艶やかに彩りました。各部門における入選作品と審査員の講評をご紹介します。

一入選者・作品(※敬称略)

【書道の部】

- ◎特選Ⅱ永友美季「杜甫詩」
- ◎奨励賞Ⅱ川崎忠康「柳中庸詩」(2首)、河野ヨシ子「よしの山」、多田尚代「周立詩」
- ◎努力賞Ⅱ坂元優子「馬鐸詩」
- ◎新人賞Ⅱ神村明美「漢詩」

【写真の部】

- ◎特選Ⅱ黒木和也「ベスト」
- ◎奨励賞Ⅱ岩切寿博「冬月」、外山峯子「夜の棚田」、吉田大祐「自然に還る」
- ◎努力賞Ⅱ山下剛文「秋祭り」
- ◎新人賞Ⅱ城弘「あん時の…」
- 【絵画の部】
- ◎特選Ⅱ西村幸子「からすうり」
- ◎奨励賞Ⅱ岩切満子「安堵」、城敏「六月の花」、西村純一郎「シシリー島」
- ◎努力賞Ⅱ浦辺春一「宝」
- ◎新人賞Ⅱ森岡弘子「木漏れ日」

一審査員講評

●書道の部Ⅱ陣軍陽先生

総出品数21点のうち高校生16点、一般5点であった。日南圏よりの高校生が多く、地元の串間の出品者が少ないのは気がかりである。行書と楷書がほとんどで、かな作品は1点のみであった。篆・隸がもっと増えることを期待したい。当串間地区の書愛好者の奮起を願うばかりである。指導者が居られない訳ではないだろうが、公募展に出品して力量を磨くことも学書の上では大切なことである。

もし、意ある人が居れば手助けし

たいと思う。より多くの人がさまざまな展覧会に足を運び、眼習してほしい。学書は、まず古典から始まることを自覚したい。

特選の作品は、よく学習し堂々の力作。

●写真の部Ⅱ芥川仁先生

応募作品はさまざまな対象に取り組んでおられる姿勢が伝わり、好感が持てました。写真は、撮影者の感動を共有する表現なので、作者の独自の視点であることを優先して審査をしました。

撮影技術は大切ですが、第一条件ではありません。

特選の「ベスト」は、作者の熱意が画面から伝わってきて目を引きました。ピントが甘く少女の表情も物足りない面がありますが、迫力がその欠点をカバーしています。

奨励賞の「自然に還る」は視点の独自性、「夜の棚田」は夜に撮影するアイデア、「冬月」は品格の良さで選ばせてもらいました。努力賞の「秋祭り」は上手に撮れています。独自性が弱いと感じました。新人賞の「あん時の…」は子どもたちの表情が良かった。

独自の視点と技術、それに品格が

合わさったとき、優れた作品となります。独自性とは何かを意識し、今後一層の努力をされることを期待しています。

●絵画の部Ⅱ河辺一周先生

出品点数が20点ということであるが、せめて50点くらいあるといいと思います。福島高校もあることだし、美術部員または美術の授業の作品なども出品してほしいところです。今回も決められた6点を選出したが、ベテランぞろいで甲乙つけ難い作品であった。

その中でも、特選の作品はしつとりとした色使いで秋のやわらかな風情がよく表現されている。奨励賞作品の「シシリー島」は緑を基調色にした洒落た上品な作品である。手前の川の中に何かポイントらしきものがほしかった。奨励賞の「六月の花」の女性の像はその人から出てくるオーラみたいなものを感じる。絵の具の塗り込みがもっとほしい。

奨励賞の「安堵」は、優れた指導者に恵まれて健全な作品である。串間にとっては貴重なジャンルである。この版画をもっと多くの人が学んでほしいものです。新人賞の「木漏れ日」も手なれた表現で好感が持てました。

新串間創造の第一歩

串間市の活性化のため、交流・協働・エコをキーワードに、新たな地域づくりが始まります。



現在串間市は、人口の減少および少子高齢化、観光の衰退、世界的な不況に伴う産業の低迷など、さまざまな問題を抱えています。そのため、市では今年度、新たな地域活性化事業である「南国みやざき最南端！くしま跳ね駒プロジェクト」交流・協働・エコが引き出す地域の底力」を作成しました。これは串間市が策定した長期総合計画のテーマである「豊かな自然と共に、生きる喜びにあふれる、協働と交流のまちくしま」に基づき作られた、2011年度から2013年度までの3カ年の計画です。この事業は県の地域力磨き上げ応援事業の地域創造計画枠による支援を受けています。

このプロジェクトでは、**◎新たな観光客の流れの創出**
◎市民との交流・協働による地域の再生
◎多様な主体による農業の新展開



串間市総合政策課 高橋一哉課長補佐

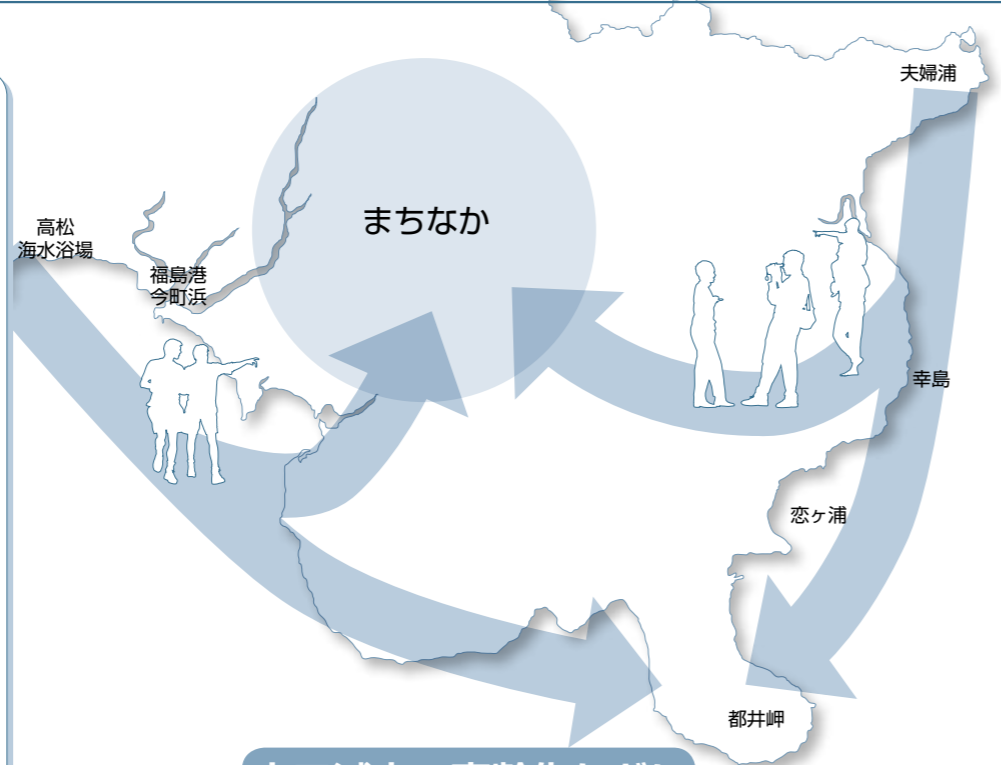
これらの事業の推進に当たっては、実際の計画の発案、決定のための会議として運営のすべての点で、市民や地域づくり団体、NPO法人などが参画し、行政と一体となって進めていく計画になっています。これは、地域の魅力づくりはそこに住む住民の協力が不可欠であるからです。これから始まる「南国みやざき最南端！くしま跳ね駒プロジェクト」は、未来につながる串間をつくるため、市民、串間市、宮崎県、国すべてが協力し合い進めるものです。市民の皆さんの、積極的な参加をお願いします。

この計画は、市外からの観光客増加に結びつく魅力・仕掛けづくりと、将来への生活不安などを解消し、市民に生きがいと元気を持つていただくことが目的です。例えば、恋ヶ浦やイルカランド、その先にある都井岬など、串間の海岸線は観光地として優れた魅力を持っています。しかし、これまでは観光の流れの市内への誘引ができていませんでした。そこで旧吉松家住宅を活用しながら、新たな町並みをつくり、市中心部の魅力を引き上げます。既存の観光地でも、観光体験などを充実させ、観光

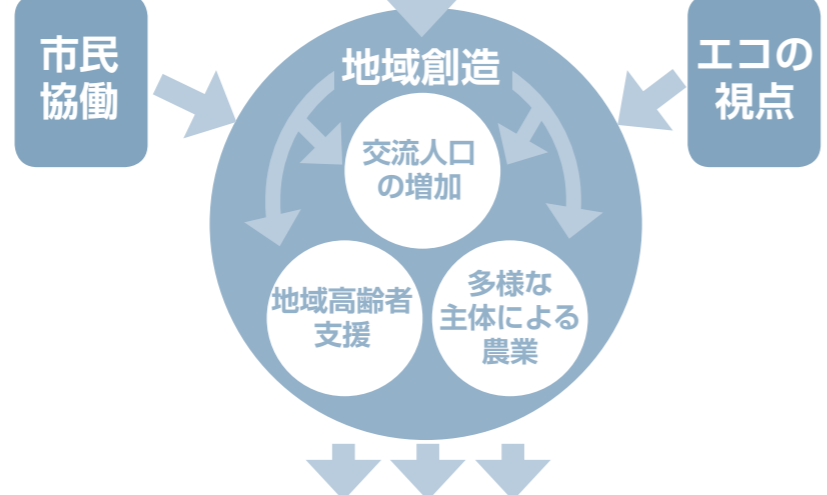
客を引き付ける工夫をしていきます。また、高齢者への買い物支援の取り組みなどの住みよい地域づくりの推進や、新しい農業の創出など、地域を元気づける事業も用意しています。これらの事業により交流人口の増加と市内の観光循環を高め、経済の活性化と地域交流の充実を進めていきます。そのためには、地域をよく知る住民の方が計画に参画し、協働しながら事業を進めていくことが不可欠です。市民、行政、NPO法人などが、それぞれの立場から、串間の魅力をつくることできれば、多様な魅力を持つ串間になることができると考えています。

宮崎県県民政策部中山間・地域政策課 福田直課長

宮崎県では現在、宮崎県総合計画「未来みやざき創造プラン」に基づき、新しい「ゆたかさ」を創造するため、



人口減少・高齢化などによる地域力の減退



新たな経済循環・新ビジネスの創出
潤いある地域社会・生活の充実・生きがいと誇り

新たな経済循環・新ビジネスの創出
潤いある地域社会・生活の充実・生きがいと誇り

- 1. 観光リーディングプロジェクト**
・都井岬再開発事業＝都井岬の新たな観光拠点の整備
・「岬の駅」運営継続事業
・体験メニュー充実・ガイド力向上事業
・スポーツ&カルチャーランド串間推進事業＝スポーツキャンプに加え文化サークルなどの合宿や大会の誘致の促進
- 2. まちなかクロスプロジェクト**
・まちづくり協働交流機能強化事業＝市民協働の生活支援、観光・移住などの総合案内、相談機能の充実
・旧吉松家住宅周辺（仲町通り）再開発事業＝旧吉松家住宅周辺（仲町通り）を中心に、景観づくり、街路整備を促進
・案内サイン整備事業（市内全域）＝観光地・史跡などへの効果的な誘導
- 3. 海遊ロードプロジェクト**
・恋ヶ浦サーフスポット及び夫婦浦観光施設整備事業＝恋ヶ浦などへのトイレ、シャワー、駐車場などの施設の整備
・高松海水浴場活性化事業＝マリンスポーツなどの体験プログラムの開発・展開
・福島港エリア活性化事業＝新たなイベント開発と町並み・食を生かした観光メニューの開発
- 4. 安心と生きがい創造プロジェクト**
・買い物・高齢者生活支援・地域の居場所づくり推進事業＝高齢者などへの買い物生活支援と楽しみづくり
・農産物等流通支援事業＝農産物の市内外への流通、販売の支援（市木地区）
・農業で潤す地域コミュニティ創造事業＝地域農家、一般市民、企業、NPOなどの多様な主体による体験・観光・研修型の農業施設の整備・運営（市木地区）
- 5. ローカルエネルギー推進プロジェクト**
・小水力発電活用調査研究事業＝小水力発電の農業への活用方法の調査
・再生可能エネルギー活用調査研究事業＝小風力や太陽光などの再生可能（自然）エネルギーの産業・まちづくりなどへの活用方法の調査



市町村と地域住民が一体となった地域づくりの取り組みを支援しています。その事業として今回、串間市が採択対象となった地域力磨き上げ応援事業の地域創造枠があります。補助金の交付など、事業実現のため最大限支援するほかさまざまなアドバイスを県のあらゆる部署から発信できる体制を準備しています。

この事業は、市町村から提案のあった、多様な要素を組み合わせた分野横断的な取り組みに基づく将来像を持つ、骨太な地域づくりが対象となります。そのため、実現には行政だけでなく、地域住民や民間団体などあらゆる分野の方の協力が必要です。串間市の皆さんには、積極的な事業への参加をお願いします。

今回の「南国みやざき最南端！くしま跳ね駒プロジェクト」をぜひ成功させ、串間市の発展を果すだけでなく、南那珂地域の活性化、引いては宮崎県全体を元気づけるような、取り組みになることを県として願っています。

丹波の黒豆

おせち料理に欠かせない煮豆。ぜひ黒豆(くろまめ)。

黒酢、黒米、黒豚、黒みつ、黒こしよ
う……。最近、目にする機会が多くなっ
た『黒』のつく食品の数々。健康ブー
ムにより『黒』健康に良い。深い味
わい』といった印象を受ける人も多
いはず。そんな黒色の食品の中から
今、まさに旬を迎えた『丹波の黒豆』
を紹介しましょう。



市木・中福良地区にお
住まいの藤原栄二さんは
3年前、あるテレビ番組
で丹波の黒豆を目にし
ました。『思い立ったら吉
日』とすぐに種を取り寄
せ、栽培を始めました。黒豆は、黒
大豆とも称される大豆品種の1つ。
普通の大豆(黄色のもの)と同じ大



藤原栄二さん(71歳)
丹波の黒豆は、大粒で食べ
応え満点。煮豆はもちろん、
熱れる前に収穫して枝豆に
してもおいしいですよ。

が代表格。でも、黒豆は色が抜けや
すく、煮るのにもちよつとしたコッ
が必要。栄二さんの妻・満智子
さんにお話しをお聞きしました。「と
にかく、ゆつくりコトコト煮ること
あと、豆が煮汁から出ないように
ね」と至ってシンプルな答え。
間もなくお正月。おせち料理の1
品に、体が丈夫なことの意味でもあ
る『まめ』を家庭で煮てみませんか。

「最初は緑色。次に黒っぽい斑点が
出てきて斑模様。そして最
後は全体が真っ黒になる」
とのこと。ほかに、黒豆
の方がさやのはじきが少な
いなどの違いがあります。
そして料理。黒豆料理と
いえば、何と言っても煮豆
が代表格。でも、黒豆は色が抜けや
すく、煮るのにもちよつとしたコッ
が必要。栄二さんの妻・満智子
さんにお話しをお聞きしました。「と
にかく、ゆつくりコトコト煮ること
あと、豆が煮汁から出ないように
ね」と至ってシンプルな答え。



リズムよく大豆をたたき、実をおとしていきます。

THE SLOW LIFE

THE SLOW FOOD

良



【黒豆】大豆品種の1つであり、
黒大豆とも言われる。マメ科の1
年草。黒豆の皮には色素成分の
アントシアニンが多く含まれ、抗
酸化作用に優れている。丹波の
黒豆は、兵庫県丹波地方発祥の
「丹波黒」という品種名の黒大豆
で、極大粒の高級品種である。

How to cook



煮豆

◎材料

- 黒豆.....500g
- 砂糖.....400g
- 塩.....小さじ1

◎作り方

- ①黒豆を水できれいに洗う。
- ②塩を入れた水(豆の3倍量)に黒豆を一晩ひたす。
- ③②の水と黒豆をそのまま鍋に移す。落としがたをし、豆が柔らかくなるま
で中火で静かに煮る(約1~1時間半くらい)
- ④砂糖を入れ、煮含める。*豆を煮るときは、常に煮汁に満ちた状態で煮ること。

古き良き 家庭の味を守る

家庭で大豆からみそ、しょうゆを作る昔ながらの生活を続けています。

日本の食卓に欠かせない調味料で
あるみそやしょうゆ。今ではお店で
買うものばかりですが、昔は自分の
家で作る、家庭の味の源でした。そ
の自家製のみそやしょうゆの原料で
ある大豆作りを、大東・

るでゴミを振り落したあと、唐箕(とうみ)
れいに分けていくんだよ」と話してく
れました。今回収穫した大豆は2週
間ほど天日で干し、1年寝かせたあと
みそやしょうゆの材料になります。す
べての作業が人の手によつ
て進められていくのです。



広野地区にお住いの河野
昭子さん、津曲日支子
さん、津曲光代さんの3
人は今でも続けています。
3人の大豆作りは昔なが
らのやり方そのもの。7月に植えら
れた大豆は11月には実をつけます。
これを株ごと切り取り乾燥させた後、
木の棒で一束ずつたたきながら、実
を落としていくのです。

豆でみそを作ったばかり。昔はみ
な、自分の家で作っていたんだよ」
と話す光代さん。
3人はこれからも昔ながらやり方
で、家庭の味を守り続けていきます。

「機械で落とすと大豆が割れてし
まうから、こうやって全部手作業で
なければだめなんよ」と教えてくれ
た日支子さん。手際よく実を落と
していきます。

昭子さんは「落とした大豆は、ざ



河野昭子さん(74歳)
津曲日支子さん(72歳)
津曲光代さん(68歳)



つけもの大根作柄良好

昭和47年、福島川の堤防敷地内には、丸太を組んだ見事な大根干し場が組まれていました。この大根は、市農協と大東農協が東海つけもの製造株式会社と契約栽培した漬物用のもの。川の兩岸は川風と西風がよく当たるため、干し場に最適でした。この大根は早掘り甘しょの後作に植えられたもので、この年の作柄は良好でした。～昭和47年12月発行・広報くしまから～



福島川堤防の大根干し場



My Town Topics

まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

仲町通りに地場産品ずらり



11月20日、仲町通りで『なかんまちとんじゃか市』がありました(主催:仲町商店会)。この日は毎月第3日曜日恒例の『よかむん市』も同時開催。会場には市内外から多くの出店が立ち並びました。また、大縄跳び選手権が行われたほか、炭焼きのさんま、新鮮なマグロの刺身が振る舞われるなどイベントも充実。好天にも恵まれ、朝早くから多くの人で賑わいました。



INTERVIEW

初出品を体験

福島中学校2年

河合さん・小玉さん・野上さん

今日は2学年が出品者として参加しました。もち米は自分たちで田植えと稲刈りを農業体験したもので、銀杏は校庭に実っていたものを洗い、選別しました。準備は大変でしたが、買ってもらったときの喜びはとても大きいです。

Scene 5

社会の一員を自覚就業体験



11月7日～9日の3日間、福島高校2年生の生徒88人が市内28事業所で就業体験(インターシップ)をしました。同体験は社会を支える一員としての自覚と、働く目的を理解するために実施。市役所では5人の生徒が研修しました。生徒は職員と現場に出かけるなどし、市民とも積極的に交流。行政のしくみを学ぶとともに、同校の存在意義も新たにしていました。



INTERVIEW

広報とコラボ

福島高校2年

前門充徒くん

情報政策係でパソコンのメンテナンスや広報の取材を体験しました。情報システムには興味があったので、とても有意義でした。今、生徒会長をしているので、この経験を生かし『広報くしま』とコラボして積極的に学校をPRしていきたいです。

Scene 4

日本の伝統芸能に拍手喝采



11月7日、北方小学校で吉松亭落語会の出張ライブがありました(主催:同実行員会)。囃子には三遊亭好太郎さんなど2人を迎え、同校児童のほか秋山小学校児童、保護者も寄席を鑑賞。身ぶりを交えた巧みな話芸に会場が沸きました。演目は『転失気』や『しの字嫌い』のほか扇子を使ったそば食などの形態模写も披露。瞳を輝かせ高座に見入る児童たちでした。



INTERVIEW

次も聞きたい

北方小学校3年

川崎麻莉亜さん

今日は、初めて落語を聞きました。とても楽しく聞くことができ、良かったです。特に、50音を使って外国語の発音をしゃべる物まねと、おならのはなし『転失気』がおもしろかったです。また、次のときも落語を聞いてみたいと思いました。

Scene 3

文化の秋図書館の彩り 8千冊



11月6日、市立図書館が『としょかんまつり』を開きました。本の交換広場となった文化会館小ホールには市民から寄せられた約8000冊の本が並び、目当ての本を探す来場者でにぎわいました。本は2冊の持ち込みで交換券1枚を発行(交換券は1枚で本1冊と交換可)。箱いっぱい本を持ち帰る人もいました。また、図書館ではお話し会も同時開催されました。



INTERVIEW

図鑑が大好き

南さくら保育園・きりん組

川崎夢斗くん

ママとお友だちの3人で来ました。絵本はとても好きです。一番好きなのは、乗り物や虫がたくさん出てくる本(図鑑)です。虫は、カマキリが大好きです。今日は、『夏の虫・夏の花』という本を買ってもらいました。とても気に入りました。

Scene 2

観光資源生かすエコツアー



11月4日、串間市役所で近畿大学の学生が串間の自然を生かしたエコツアーを企画・提案しました。ツアーは『まだ見ぬ自然との出会い～宮崎へつなぐエコツアー』と題し、学生を対象に低価格で設定。幸島散策や都井岬トレッキング、海岸清掃など観光資源を生かす一方、保全にも配慮した内容でした。参加者は興味深く耳を傾け、新たな観光の可能性を感じていました。



INTERVIEW

さらに安価も

串間商工会議所

長渡國良さん

串間のことを取り上げていただき、本当にありがたいと思いました。幸島は市民でも散策したことのない人は多いはず。市民もそのよさを実感できる機会があるといいですね。ツアーは正直なところ、もっと価格を抑えられと思いました。

Scene 1

爽やかな秋風と景色を堪能



11月3日、市民の健康と体力づくりへの理解を深めてもらおうと第29回市民健康ウォークが開かれました。イベントには市民65人が参加。地域生活支援センターWingを発着点とする市内約9kmを歩きました。参加者は田園のコスモスや桜づつみロードの景色を愛で、爽やかな秋の日を堪能。ゴール後は食生活改善推進員の方々手製の弁当に舌鼓を打ちました。



INTERVIEW

秋の実り発見

福島地区・西本西方

京塚いつ子さん

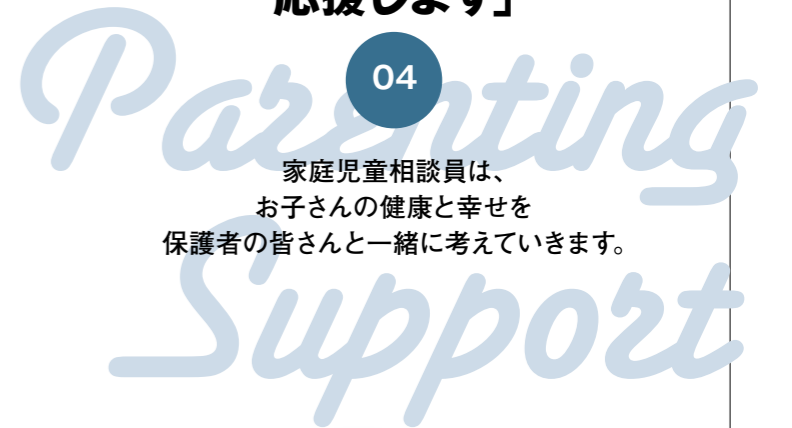
今日は曇り空で、歩くのにちょうど良い天気でした。途中、ぐみやからす瓜などの実りを目にし、新鮮に感じました。始めは不安だった9kmの道のりも、おかげで短く感じました。歩いた後のお弁当が何よりおいしいです。ぜひ、来年も参加したいです。

家庭児童相談員は、家庭における児童養育に関することや児童に係る家庭の人間関係に関する事など家庭児童福祉に関する相談指導を行うために設置されました。男女2人の相談員が、総合保健福祉センターに設置された家庭児童相談室にて、家庭で子ども（18歳未満）を育てる際のさまざまな悩みや心配ごとについて、相談に応じています。

相談の内容

- 受け付けている相談内容は、次のように多岐にわたっています。
- 子育てがわからないことばかりで不安である。
- 子育てがつらい。
- いろいろして子どもに手をあげてしまう。
- 近所でもいつも聞こえる激しい泣き声が心配である。
- 友達と遊べない。
- わがまま、内気など子どもの性格が心配である。
- 不登校など集団生活になじめない。
- 家で暴力を振るう。
- 夜遊びや万引きなど非行に走る。

子育て支援情報
「私たちはあなたの子育てを
応援します」



家庭児童相談員



今村勝哉相談員 森本明子相談員

◎ 問い合わせ先 福祉保健課子育て支援係 ☎ 72-0333 (内線 503・504)

定期巡回相談とは

都城児童相談所の児童福祉司または心理判定員が対応する相談です。より専門的に障がいに関する相談および家庭児童に関する相談を行います。毎年、2カ月ごとに6回程度実施しています。

- 家庭の事情で子どもの養育が困難になった。
- 言葉や身体の発達が不安である。
- 相談の受付
相談は、家庭児童相談室で直接会って受ける面接相談のほか、電話での相談も対応しています。匿名での相談もできます。
- 相談の窓口
また、必要に応じて地域の民生委員・児童委員や学校、保健所など関係機関と連携・協力して相談・指導を行います。

- さらに、児童相談所が行う定期巡回相談の受付や連絡なども行っています。受け付けた相談内容の秘密は守りますので、安心してご相談ください。
- ひとりでは悩まずに、一緒に子育てについて考えましょう。
- 家庭児童相談室
相談時間 平日(月～金) 午前9時～午後4時まで
◎ 直通電話 ☎ 72-5783

第3回手づくりフェア
〜都井岬のクリスマス〜

毎回、大好評の手づくりフェア。今回のテーマは『都井岬のクリスマス』です。クリスマスプレゼント用にステンドグラスやシャドウキルト、シルバークラセサリーなど：手作りチャレンジしてみませんか。各講師の作品展示・販売もいたします。

◎日時 12月17日(土)・18日(日)
*時間 午前10時～午後4時
◎場所 「岬の駅」都井岬1Fロビー
◎料金 無料
*手作り体験に参加される場合は別途、費用が必要ですが。



年忘れバイキング

今年も1年、お疲れさまでした。職場の同僚と気心知れたお友だちと心配かけ

てるご両親と…。いつもはゆつくりしゃべる時間もないけれど、今回は特別『限定カクテル』もご用意いたします。お食事とおしゃべりを楽しんでいただいた後は、冬の澄んだ星空が見送り。もちろん、無料送迎バスを運行いたします(要予約)。



◎日時 12月17日(土)
*時間 午後6時～9時



家庭児童相談員



今村勝哉相談員 森本明子相談員

◎ 問い合わせ先 福祉保健課子育て支援係 ☎ 72-0333 (内線 503・504)

定期巡回相談とは

都城児童相談所の児童福祉司または心理判定員が対応する相談です。より専門的に障がいに関する相談および家庭児童に関する相談を行います。毎年、2カ月ごとに6回程度実施しています。

◎場所 「岬の駅」都井岬1Fロビー
◎料金 無料

第1回都井岬短歌大会

第1回都井岬短歌大会の開催が決定しました。併せて、短歌作品の募集を開始します。

◎日時 平成24年3月20日(火)

◎場所 「岬の駅」都井岬1F大ホール

◎内容 伊藤一彦氏講演会、都井岬短歌賞表彰式、シンポジウム(「岬の歌」を読む詠むヨム) 短歌作品の募集

【都井岬短歌賞】

◎一般の部
『人間と自然を詠む』
・自由題のほか、題詠「岬」に1人1首応募可。

*いずれか1首でも可。題詠には必ず「岬」を入れてください。
◎小・中・高校生の部
・宮崎県内の児童生徒が応募できます。一人1首で、題は自由です。
*詳細はお問い合わせください。
◎応募方法 ①住所 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤職業(学生は学校名と学年) ⑥電話番号を明記のうえ郵送またはメールにて
◎応募締切 12月31日(当日消印有効)
◎発表 平成24年2月
◎申込・問い合わせ先 串間市観光協会、または「岬の駅」都井岬 888-0221 串間市大字大納42-3 (メールアドレス yoyaku@roimsaki.jp) ☎ 76-1111

「岬の駅」都井岬
12月のイベント情報をお知らせします。

「慌ただしい師走の冬を都井岬で過ごしませんか。あなたを癒すイベント盛りだくさんです。」

子どもからお年寄りまで、仲間と一緒にいろいろなことを学んだり楽しんだり、生涯学習にチャレンジしましょう。

今回は、さわやか学級の移動研修の様子などを紹介します。



青少年の声を聞いてみませんか

平成23年度「串間市青少年の声を聞く会」を開催します。児童生徒の皆さんが、日頃の生活体験の中で何を感じ、何を考えているのか、小学生11人、中学生6人、高校生2人が発表します。子どもたちのすばらしい発表に耳をかたむけてみませんか。

- 日時 平成24年1月15日(日) 午後1時半～4時半
- 会場 串間市文化会館大ホール
- 発表者 市内の小・中・高校生
- 主催 串間市青少年育成市民会議・串間市教育委員会
- 問い合わせ先 教育委員会事務局 生涯いきいき係 ☎内線379・380

さわやか学級開催

串間市さわやか学級では、各地区学級の交流を目的に、年1回の日帰り移動研修を実施しています。本年度は9月21日(水)に115人の学



いたちみるかい!! くしまんスポーツフェスタ 2011

昨年度に引き続き本年度も10月10日に、体力づくりとニュースポーツの普及を目的に「いたちみるかい!!くしまんスポーツフェスタ2011」を串間市営球場を会場に実施しました。当日は約60人が参加し、ターゲットバードゴルフ、ビーチボールバレー、フライングディスクなど5つの競技を体験しました。初めて体験する競技もありましたが、皆さん歓声をあげながら楽しそうにプレーしていました。

平成23年度串間市成人式

- 日時 平成24年1月8日(日)
- 受付 午前10時半～11時20分
- オープニングアトラクション (スライド上映会) 午前11時半～正午
- 式典 正午～午後0時50分
- 抽選会 午後0時50分～1時
- 記念撮影 午後1時～2時

育

[Health]

むし歯のお友だち

◎15の笑顔が輝いています。

10月12日の3歳児健康診査で、むし歯がなかったお友だちです。乳幼児フッ素塗布のご案内

- 日時 12月21日(水) 午後1時～
- フッ素は歯の質を強化します。



1時半

●場所 串間市総合保健福祉センター 2階すこやか広場

※通知はいたしません。年3回になるように受けると効果がありません。

●問い合わせ先 福祉保健課子育て支援係 ☎72-0333(内線504)

級生が参加し、鹿児島水族館などを訪れました。

鹿児島水族館では、多種類の生き物を見ることができ、とても珍しい生き物もいました。また、イルカのショーも行われ、イルカの能力の高さにびっくりさせられました。初めて訪れた方も多く大変好評でした。バスの中では、共に学友と久しぶりに再会したことや、見学した施設の話で会話が弾んでいました。来年度も楽しい移動研修を計画したいと思います。皆さんもぜひ、さわやか学級に参加してみませんか。



1号車



3号車



2号車

●会場 串間市文化会館

●対象者 平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた方

※市内に住所がある方は後日、案内を送付します。また市内に住所のない方については、受付を行っていただきますので、教育委員会までお申し込みください。

- 問い合わせ先 教育委員会事務局 生涯いきいき係 ☎内線379・380

生涯学習推進大会出演者募集

市民それぞれが楽しく学び、生きがいを感じながら生活するためのヒントを見いだす機会として、毎年開

催している生涯学習推進大会。本年度は、平成24年2月19日(日)に開催する予定です。

この大会で、踊りや音楽・各講座などの活動発表として、いくつかの団体に出演していただいています。本年度の大会でも日頃活動されている成果を発表する場としてプログラムを設けており、出演していただける団体を2～3団体ほど募集します。参加を希望される方は、12月22日(木)までに教育委員会事務局生涯いきいき係まで、お申し込みください。

- 問い合わせ先 教育委員会事務局 生涯いきいき係 ☎内線379・380



「英語はわたしの生きがいです」。このように話すのは、福島中学校3年生の川崎杏華さん（15歳）。杏華さんは9月27日開催の「第54回南那珂地区中学校英語暗唱弁論大会」で優勝し、10月14日に開催された「第63回宮崎県中学校英語弁論大会」で見事、3位となりました。11月には「高円宮杯第63回全国日本中学生英語弁論大会」に出場します。

宮崎県3位の表彰状と盾を手に、笑顔で記念撮影



英語を使って意見発表

優れた発音の英語弁論で、全国大会に挑戦します。

福島中学校

小学校6年生のときに塾で英語と出会った杏華さん。始めは苦手としていた英語ですが、徐々にその魅力に引かれていきました。

今回の大会の弁論テーマは「命のつながり」。このテーマに合う弁論を書くために、杏華さんは自分で、戦争経験のあるおじいさん取材しました。話を聞き、改めて自分が生まれたことには多くの歴史がながっているのだと感じた杏華さん。大会ではその思いを込めながら発表しました。また、夏休みは毎日練習。中学校の英語担当の先生のほか、国際交流員のジュリアンにも教わりながら、練習に励みました。

杏華さんは「何気なく始めた英語だったけど今では大好きです。いつかアメリカへ留学してみたいと思っています。将来は英語に関係する仕事に就くのが夢です」と話していました。

くしま探訪

串間市の民話と伝承

串間市の中心部、西郡元にたたずむ西神社。ここでは、海の神さまである「上筒男命、中筒男命、底筒男命」の住吉三神が祭られています。そのため明治以前は住吉大明神と呼ばれていました。なぜ海の神さまが祭られているのでしょうか。このことについて、西神社の宮司を兼任されている岩下国仁さんにお話を聞きました。お話によると、串間を治めていた秋月氏が串間に移り住んだときに、福岡にあった住吉神社と同じ神さまである住吉三神を祭る神社を建立したということです。また当時の串間は現在のような地形ではなく、市街地まで海が広がっていました。西神社のふもとにあった田園にも海水がやってくるがあったそうです。

西方の神社 『西神社』

健康マメちしき

Health Knowledge



「自然治癒力」を高めよう！

写真は11月3日「市民秋祭り」病院コナーで、セラピー犬のモモちゃん（写真手前）マリーちゃん（同奥）と触れ合っている岩切希星ちゃんです。

セラピー犬とは触れ合いや交流を通じ、病気やケガ・精神的な痛みを受けた人の心と体を癒す高度な訓練を受けた犬のことです。最近では、介護の現場に導入している施設も多くなってきています。

本日は、だれもが持っている「自然治癒力」について書かせていただきます。

「自然治癒力」とは？

自然治癒力とは人間を含め、動物が本来持っている「自分の力で病気を治したり、傷口を治したりする力」のことです。たとえば、風邪にかかっていたが、様子を見ていたら薬も飲まずに治った、また、かすり傷を負ったが、そのままにしておいたら治ったという経験があると思えます。それが「自然治癒力」です。

だれもが知っているナイチンゲール

皆さんがよくご存じのナイチンゲールは、1859年「看護覚え書」という著書の中で「看護とは新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静かさなどを適切に整え、これらを活かして用いること、また、食事内容を適切に選択し適切に与えること」

と……といったすべてのことを患者の生命力の消耗を最小に整えること、を意味すべきである」とし、人間（動物）が持っている自然治癒力を前提に捉えています。

150年も前に、このような考えを示し、現代の看護学や看護教育に大きな影響を与え続けています。

みんな同じ？

自然治癒力は、だれもが持っています。しかし、残念ながらその力は1人ひとり違います。同じような経過・症状の方でも、その患者さんが持っている自己防御力（外部から進入してきた細菌やウイルスと戦い自分の体を防御する力）や自己再生力（傷を負ったとき、壊れた細胞を修復して元に戻そうとする力）の違いにより経過は違ってきます。

何らかの症状があつて受診される患者さんに対し、医師は受診までの経過・症状・いろいろな検査の結果から診断をします。診断に沿って内服を処方したり点滴をしたり、手術などを行って治療をしていきます。医師・看護師は、患者さんの体が治そうとする力を専門的な知識・高度な技術を使って手助けをしていることになりま。

自然治癒力を高めるために

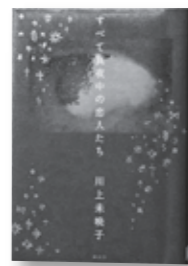
では、どうすれば「自然治癒力」は高められるのか？次に書いた基本的なこと

- 1. **食事をバランスよく摂りましよう**
大豆（豆腐）・卵・牛乳・レバーなどの食材は、自己防御力を高めると言われています。また、その土地で育った旬の食材を使うことをお勧めします。
 - 2. **適度な運動をしましよう**
体を動かすことにより、自律神経や内分泌系が活発になります。特に、ウォーキング・ジョギングなどの有酸素運動が最適です。
 - 3. **睡眠を十分とりましよう**
「自然治癒力」は、体がリラックスしているとき、特に睡眠中に発揮されます。
 - 4. **気分転換をしましよう**
ストレスがたまると「自然治癒力」は十分に発揮されません。散歩や趣味を持ち、ストレスをためないよう心がけましよう。また、意識的に「笑う」を実践し、ストレスの解消と楽しく過ごすことに心がけてみてはいかがでしょうか。
- 毎日、文句を言わずに働いてくれる体に感謝し、できることから始め、病気に勝てる体と心を作りましよう。
- でも、もし病気に負けそうなときは、早めにかかりつけ医に相談し、時間内の受診をしましよう。
- 医師の「自然治癒力」を低下させないために……

著：串間市民病院 総看護師長 福添八重子

YAEKO FUKUZONO

すべて真夜中の恋人たち
川上未映子／著



ふたりで話したことを思いだし、とても好きだったことを思いだし、ときどき泣き、また思いだし、それから、ゆっくりと忘れていった…。恋愛の究極を投げかける長編小説。



インドのジャングルに棲んでいたやせこけたトラは、宮殿の広間でおいしそうに食事をしている王さまと家族がうらやましくてたまりません。ある日、トラはとんでもないことを思いつき…。とびきり愉快な絵本。



12月のテーマ展
クリスマス特集

図書館ではクリスマスを題材にした絵本や物語、ごちそうのレシピにプレゼントのラッピングまでさまざまな役に立つ楽しい本を集めました。子どもからお父さんお母さんまで、ぜひ一度手に取ってご覧ください。



図書館に
来ました

2週間に1度は図書館に来ます。杏花は絵本が大好きなので、お話し会にもよく参加します。今日は「ポポくんのおんがくかい」が気に入ったようなので、借りたいと思います。(母・優子さん)

福島・西小路2区
和田杏花ちゃん

RDG5 (荻原規子) 異国のおじさんを伴う (森絵都) ルー=ガルー2 (京極夏彦) 四十八人目の忠臣 (諸田玲子) 読んでいない絵本 (山田太一) 用心棒日暮し 剣波燃える (池永陽) 用心棒血戦記 (鳥羽亮) 持ち重りする薔薇の花 (丸谷オ一) 無冠の父 (阿久悠) 水の樞 (道尾秀介) 独女日記 (藤堂志津子) 東京ピーターパ

ン (小路幸也) プリズム (百田尚樹) 一分ノ一 (井上ひさし) かわいそうだね? (綿矢りさ) 境遇 (湊かなえ) 武蔵2 (花村萬月) 忍び秘伝 (乾緑郎) 真田三代 (火坂雅志) 破断 (笹本稜平) ドルチェ (菅田哲也) ぱくりや (乾ルカ) ノーマジーン (初野晴) 任侠病院 (今野敏) 春から夏、やがて冬 (歌野晶午) 蝸の声 (古井由吉)

■ 交流員レポート / 第8代国際交流員ジュリアンの日本体験記

今年もあと1カ月。本当にあつという間ですね。わたしも串間での3回目の誕生日を迎え、24歳になりました。皆さん、クライストチャーチであつた地震を覚えていますが、東日本大震災の直前だったのを忘れていても無理はないと思います。2月22日にあつた地震から約9カ月が過ぎ、6月にまた震度6の地震があつたものの、復興がだいぶ進んできました。自分の知っていた町や風景はもうないですが、新しいクライストチャーチが生まれようとしています。11月には町の中心部のお店が集まつていた場所にコンテナを設置して、仮設のショッピングセンターがオープンしました。震災後、お店を構える場所を失つた人たちは大変喜んでいました。ニュージールランドの首相も開場式に参加して初日から大変混雑しているようです。2月の震災から、クライストチャーチの中心部はずっと立ち入り禁止の状態が続いていました。最近になり、少しずつ立ち入り禁止の区域も狭くなり、壊れた建物の解体も進んできたよ

今月の表現
This month's expression
00を願っている
I hope for 00.
より安全な町を願っている
I hope for a safer town.



地元の友達に、11月5日に撮ってもらった現在のクライストチャーチです

Kushima Library

● 串間市立図書館 ☎ 72-1177 ● 開館 = 午前10時～午後6時 ● 休館日 = 毎週月曜日 http://www.kushima-lib.jp/

年金

年金の請求について

- 年金の受給には300月以上の納付と免除期間が必要です。
- 満額(480月) 受給は20歳(60歳まで40年、納付が必要)
- 受給資格を満たした方で厚生年金の期間が一年以上ある方は、60歳、国民年金期間のみの方は65歳から請求できます。

任意加入できます!

- 裁定請求書は誕生月の3カ月前に送られてきます。
- 加入していた年金制度によって、提出先や必要書類が異なります。
- 任意加入して保険料を納めることができます。
- 日本国内に住所のある60歳以上65歳未満の人

未支給年金請求の手続きはお済みですか?

年金受給者が死亡した月までの年金を受けていない場合、生計を

- 日本国籍を持ち、海外に居住する20歳以上65歳未満の人
- 厚生年金・共済組合の老齢(退職)年金を受給している60歳未満の人

なお、昭和40年4月1日以前に生まれた人は、65歳までに受給資格が満たない場合、70歳まで加入することがあります。

- 問い合わせ先 市民生活課市民係 ☎ 内線 225・226、都城年金事務所 ☎ 0986-2312571

入札参加資格申請

平成24・25年度
入札参加資格審査申請書の
受付のお知らせ

- 受付期間 平成24年1月10日(火)～2月24日(金)
- ※土日祝日を除く
- 受付時間 午前9時～正午・午後1時～4時半
- 受付場所 市役所1階B会議室

(庁舎1階) および市役所財務課(2階)

● 受付を行う業種

- 建設工事
- ① 土木一式工事 ② 建築一式工事
- ③ 電気工事 ④ 管工事 ⑤ 水道施設工事 ⑥ 造園工事 ⑦ 装工事 ⑧ その他建設工事
- 測量・建設コンサルタント業
- ① 測量 ② 建築士事務所 ③ 建設コンサルタント ④ 地質調査 ⑤ 物件補償・鑑定 ⑥ その他コンサルタント業

● 業務委託業

- ① 清掃 ② 警備 ③ 収集運搬 ④ 保守点検 ⑤ 環境測定 ⑥ その他役務提供の業種
- 物品など
- ① 事務用品・事務機器全般から機械器具・車両など市が購入するもの
- ② 医薬品および医療器具など市が購入する医薬材料および医療機器
- ③ 学校教育・保育所などにおける教育・保育関連消耗品および備

品

- ④ 活版印刷・カラー印刷・フォーム印刷など市が購入する印刷物
- ⑤ 自動車車検・備品の修理など市所有備品の検査及び修理
- ⑥ その他市が購入する消耗品および備品
- ※申請要領および様式・添付書類などの詳細につきましては、串間市公式ホームページの入札・契約を参照してください。
- 問い合わせ先 財務課契約管財係 ☎ 内線 322、325

お知らせのページ

市役所の代表電話 ☎0987-72-1111

お知らせ

年末年始の施設開放

◎**開放施設（有料）**＝市民総合体育館、市総合運動公園（陸上競技場は除く）

◎**期間**＝12月29日（木）～平成24年1月3日（火）

※各種施設のほか、陸上競技場についても1月4日から平常通り利用できます。

◎**利用時間**＝午前9時～午後5時

◎**申込方法**＝電話予約を受け付けますが、体育館事務所で申し込み手続きが必要です（申込責任者は市内の方に限ります）。

◎施設利用者へのお願い

後片付け、コート整備は個人の責任で実施すること。グラウンドコンディションが不良の場合は絶対に使用しないこと。大会などでの使用はしないこと。1回の申し込みで3時間程度の使用を限度とすること。使用料は1月10日までに納入すること。トイレなど公衆衛生面について注意を払うこと。その他、管理者の指示に従うこと。

◎**申込・問い合わせ先**＝串間市民スポーツセンター ☎72-5262

経済センサス調査にご協力を

平成24年2月1日現在で、経済センサス活動調査が実施されます。この調査は全国のすべての事業所を対象にする「経済の国勢調

査」です。東日本大震災の影響を地域別に把握し、今後の復興のための貴重なデータを提供する大切な調査です。調査の結果は各種政策や研究の資料となるほか、参考資料として事業者の方々にも活用していただくことを目的としています。調査票は統計上の目的以外には使用しません。1月上旬より調査員が各事業所に伺いますので、調査へのご協力をよろしくお願います。

◎**問い合わせ先**＝総合政策課企画統計係 ☎内線333、339

福祉バザー「あおぞら広場」

◎**日時**＝12月11日（日）午前10時半～午後2時半

◎**場所**＝総合保健福祉センター

◎**目的**＝障がい者の社会参加と市民交流

◎**主催**＝串間市手をつなぐ育成会とあおぞら広場の会

◎**内容**
・季節の野菜、手作り菓子、パン、漬物、手芸品、花などの販売
・フリーマーケットコーナー（大人、子どもだれでも参加可能）
・試食、飲み物コーナー
・遊びの城（ゲーム、工作など）

※ボランティア10人参加予定（日南学園看護専攻科の生徒）

◎**問い合わせ先**＝元木 ☎72-7911、野辺 ☎72-5677

身体障がい者補助犬

◎**身体障がい者補助犬について**
補助犬とは、目や耳や手足に障がいのある方の生活をお手伝いする、「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」のことです。障がいのある方のパートナーであり、ペットではありません。

「身体障害者補助犬法」に基づいて認定された犬で、特別な訓練を受けています。きちんとしつけられているので、社会のマナーを守ることができ、お手入れも行き

届いていて衛生的です。そのため、公共施設や交通機関をはじめ、飲食店やスーパー、ホテルなどのいろいろな場所に同伴できます。

補助犬は、体に障がいのある人の自立と社会参加に欠かせません。補助犬のことをもっと知って補助犬ユーザーと補助犬を社会の仲間として受け入れてください。

◎補助犬の同伴について

補助犬の同伴については、「身体障害者補助犬法」で、人が立ち入ることのできるさまざまな場所で受け入れるよう義務づけられています。「犬だから」という理由で受け入れを拒否しないでください。

補助犬の同伴を受け入れる義務がある場所

- ・国や地方公共団体などが管理する公共施設
- ・公共交通機関（電車・バス・タクシーなど）
- ・不特定かつ多数の人が利用する民間施設（商業施設、飲食店、病院、ホテルなど）
- ・事務所や職場など（国や地方公共団体などの事務所、従業員56人以上の民間企業）

補助犬の同伴を受け入れる努力をする必要がある場所

- ・事務所や職場など（従業員56人未満の民間企業）
- ・民間住宅

※補助犬についての詳しい情報は厚生労働省の「補助犬」ホームページをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/syakai/hojyoken/index.html>

二宮勝憲&宮崎県美術協会展

平成23年度串間市文化会館自主事業および開館20周年記念として「二宮勝憲&宮崎県美術協会展」一ふるさと串間に育まれて一を開催します。

◎**日時**＝12月2日（金）～25日（日）

※2日は正午から開催

◎**場所**＝串間市文化会館ギャラリーロビー、ホワイエ

◎内容

- ・串間市出身の宮崎県文化賞受賞二宮勝憲先生と県美術協会会員の絵画・書・工芸などの展示
- ・小学生・中学生・高校生向けの絵画鑑賞会の開催

◎**問い合わせ先**＝串間市文化会館 ☎72-6511

新春賀詞交歓会

◎**日時**＝平成24年1月4日（水）午後5時半～7時

◎**会場**＝ホテル中村荘4階ホール

◎**会費**＝3,000円

※名簿の作成のため、会費に名刺を添えてお申し込みください。

◎**申込締切**＝12月19日（月）

※締切日以降の申し込みについては、名簿に記載されない場合があるのでご了承ください。なお、当日受付も可能です。また12月26日以降のキャンセルは返金できません。

◎**申込・問い合わせ先**＝串間商工会議所 ☎72-0254または総務課行政係 ☎内線314

●平成23年度 年末年始業務の取扱

市役所は12月29日から1月3日まで一部を除き業務を行いません。この期間中の死亡届および火葬については、市役所警備員が受け付けます（警備員 ☎72-1111）。受付場所は庁舎北側にある宿直室です。なお、ごみ収集・処理およびし尿処理についての連絡先は下表施設へお問い合わせください。

月	12月											1月			
	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日
日	(水)	(木)	(金) 祝日	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日) 祝日	(月)	(火)	(水)
じん芥処理場直接搬入 可燃ごみの受入れ	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×
じん芥処理場直接搬入 資源ごみの受入れ	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○
じん芥処理場直接搬入 粗大ごみの受入れ	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
黒潮環境センター直接搬入（不燃・資源ごみ）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
可燃ごみ収集業務	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×
不燃・危険ごみ収集業務	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
粗大ごみ収集業務	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○
資源ごみ収集業務	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	コンテナ配布	○
生ごみ収集業務（事業所分）	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	午前中	×	○
エコクリーンセンター（エコ肥料引替）	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
葬斎場業務（火葬）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
火葬等受付	○	○	警備受付	警備受付	警備受付	○	○	○	警備受付	警備受付	警備受付	警備受付	警備受付	警備受付	○

※12月24日まで、および1月4日以降は通常通りの業務になります。
 受付時間 じん芥処理場受付時間 午前9時～正午 午後1時～4時半
 黒潮環境センター 午前8時45分～11時半 午後1時～4時半

●施設電話番号（問い合わせ先）

施設名	電話番号
じん芥処理場	☎72-1193
葬斎場	☎72-3000
エコクリーンセンター	☎72-0196
黒潮環境センター	☎68-1560

【凡例】

○	業務日
×	休業日
○	土曜・日曜・祝日
○	仕事納め後の役所休業日
警備受付	警備員火葬受付

を「人権デー」と定め、すべての加盟国に対し人権思想の普及高揚に努めるように呼びかけたことによります。我が国でも、毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」として、広く国民に人権思想の普及と人権意識の高揚を呼びかけるため、さまざまな行事を実施しています。人権の侵害または侵害のおそれがあるときなどは、お近くの人権擁護委員、または宮崎県方法務局日南支局（0987-25-9125）にご相談ください。

口蹄疫復興プレミアム商品券「使用期限」

7月1日に発行した「プレミアム商品券」の使用期限が12月31日までとなっております。まだ、お手元にこの商品券がありましたら使用期限までに加盟店でご利用ください。使用期限を過ぎると、いかなる理由があっても使用できませんのでご注意ください。

◎**問い合わせ先**＝串間市口蹄疫復興支援事業実行委員会（事務局 串間商工会議所） ☎72-0254

お知らせのページに掲載を希望する場合は、希望する発行日の20日前までには情報政策係にお送りください。



このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

Halloween Party!!

●和田キャスリンさん

敬 武館串間空手道道場（金谷小体育館）で10月31日、ハロウィンパーティがありました。道場の生徒たちは、皆でおぼけカボチャを作ったりして、とても楽しい時間を過ごしました。



このおぼけカボチャを作る

際に使用したカボチャはアメリカから直接輸入した、おぼけカボチャを作るための特別なカボチャです。

このカボチャを作った道場生たちは思い思いのデザイン（表情）のおぼけカボチャを作りしました。作り終わった後に口ウソクを入れて照明を消したときは、皆が達成感と喜びを感じていました。

その後、暗い中で怖い話をして、キャスリン先生の持つて来た魔女の目、耳、指を皆で順番にさわったりしたので皆キャーキャー言いながら盛り上がりつつ来ました。そこで事件がおきました。輪になって怖い話をしていく時に、何かがドアを開けて入って来たのです！！



皆、とても楽しむことができました。このように、串間

先生が持つて来た懐中電灯で、その顔を照らした時、そこには何があったのでしょうか？何と懐中電灯の光の先には、痩せ細った白い幽霊のような顔があつたのです！道場生たちがびっくりしたのは言うまでもありません。皆、道場の中を大声を出して逃げ回っていました。その時キャスリン先生が、おぼけカボチャを持つて亡霊へと近づいていきました。すると、何と何と事でしょうか？亡霊は怖がって逃げて行ったではありませんか！亡霊を追い出した後は電氣をつけてお菓子を配り、最後に記念撮影をしてパーティーは終わりました。

大きな額を2枚寄贈しているの「うるがんな？」と言われる。「母が潤ヶ野出身です」と言うとき、今度は「おまんざあは、今どこにおいやつとな？」ときた。「あたいはな、今串間におつと」と2人志布志弁でしばらく話が弾んだ。おもしろおかしいひとときでとても懐かしい1日だった。

（テン）と和語の10（トウ）の語呂合わせで「転倒予防の日」でもあった。老齢になっても元気というのは、つまるところ足腰が丈夫だということだろう。単なる長生きではなく、いきいきと生活を楽しむ長生きをするには、足腰がしっかりしていなければならぬ。

そのためには「まず転ばない」ことを心がけねばならない。「転倒予防カルタ」の記事からいくつかを紹介する。「と」…とんとんと降りる階段油断せず「そ」…掃除機もからだづくりの健康法。ゴミ出しおつかいフトン上げ「う」…ウォーキング手をあげ顔あげ脚あげて「み」…見た目より段差は高いぞ足上げよう

こう見てみると転倒の危険は家の外よりも中に多くひそんでいることが分かる。高齢者のケガの原因の圧倒的1位（78%）は転倒で、場所は家の敷地内。大半は居室であるという。くれぐれも用心しよう。

百野さん、今月もお便りありがとうございました。百野さんは本当に話題豊富でいらつしやいますね。しかも、文章が簡潔で大変分かりやすく、勉強になります。情報多すぎて、右から左へと受け流すことが常になりつつある現代。必要な情報をきちんと取捨選択し、かつ咀嚼されていることに感心いたします。何かと物に「まずき」「ヒヤリ」とする今日この頃。タンポさんの志布志弁ではありませんが「さでくり返らんぞ」としっかり足を上げて歩かねばなりませんね（笑）。

ありがとうございます

このほか、中西栄子さん、浜田淳子さんからもおハガキをいただきました。お2人は以前、取材にご協力いただいた方々。逆にお礼のお言葉をいただき、頭の下がる思いです。ありがとうございます。このコーナーを通じ、多くの皆さんと交流できることをうれしく思います。皆さん、どしどしお便りください。

メッセージ・写真投稿コーナー

お誕生のお祝いや、感謝の気持ちをメッセージにして贈りませんか。また、あなたが撮影した写真（人・風景・ペットなんでも可）もぜひ、お送りください。

●気づいたこと 串間のミー子さん

キンモクセイの香りがしてとても秋らしくなって参りました。広報、いつも楽しく読ませていただいています。ありがとうございます。10月号8ページの「まちの話題」で、カメラが何だか変だなあと見ると印刷が裏返しでした。お気づきでしたでしょうか？別に何ということはないのですが、お知らせまで。

串間のミー子さん、ご指摘ありがとうございます。実はその通りで、カメラが上写真のように反転していました（11月号から訂正）。皆さんも、今号12ページと見比べてみてください。よく気づいてくださいました。大変、失礼いたしました。（広報担当）



☆なかよし同級生☆

「バスに乗っています♪ゴーゴー!!」これからもいっぱい遊ぼうね（^^）

すみれ・みつき・そうしまマ

の心配りと幸せな気持ちにさせる名人なのですね。子どもたちもイベントを通じて、団結力を深めたり社会性を育んだり、ただでなく心にも磨きをかけていくことと思えます。スポーツに大切な『心・技・体』のバランスここで育まれた子どもたちはきっと、大きな実を結ぶことでしょう。応援しています。

なつかしい志布志弁

●タンポボさん

兄の初盆にあたり、志布志の金剛寺へお参りすることになった。皆で出かける、本堂には多くの遺族の方でいっぱいだった。

義

読経が無事終わり、各自帰宅の用意をしていると帰り際に住職さんに「お参りさうごさい。これで冷えんどか」と言われ見ると、広い御堂の真ん中へ新聞紙を敷き、大きなタライの中に氷の柱が置いてあり、涼をとっている。見ただけでも涼しく感じられた。「お父さんに似てこられたな」と言う「親子やっでな」と言われる。そしてわたしの祖父が昔、

お便り・投稿募集しています。

下記QRコードをご利用ください（紙面に限りがあるので、すべての投稿を掲載することができないことがあります。あらかじめご了承ください）。

- ①名前（ペンネーム可）②連絡先③コメントを必ず添えてください。④Eメールアドレス info@city.kushima.lg.jp



お便りお待ちしております。

◎伝言メッセージ例

じいじ・ばあばへ

じいじ、ばあば、いつもありがとうございます。たくさん長生きして、一緒に遊んでね。

アビちゃん

◎三島真理
串間で漁業を研修!



早朝の漁研修の真っ最中。

串間市の都井にて、農林水産省の「漁村派遣研修」の一貫で1カ月間滞在し、小型定置網漁業などを体験しています。この研修は、入省2年目の職員が全国各地に派遣され、農林水産業の実態を経験するプログラムです。

1日のスケジュールは午前2時半に起床、3時に出港。漁を終えると漁獲物をトラックに積み込み、市場へ出荷します。途中仮眠や休憩を挟みつつ、午前の残り時間と午後は網の補修や入れ替えなどの作業を行い終了。今は年間で最も魚が少ない時期とのことですが、定置網にかかる魚は多種多様で、網の中で勢いよく跳ねる魚が、まだ暗い中漁火に輝きながら船へ揚げられていく光景は圧巻です。水産庁に勤務するものの東京で生まれ育ったわたしは、まさに「漁業の現場」に関わったことがありませんでした。日本の食を支えている漁師の方々への感謝を感じ、充実した研修生活を過ごしています。

一方で串間の漁業においても、我が国の水産業が直面している状況と同様にさまざまな課題があることが分かりました。例えば、漁業就業者の減少と高齢化は深刻な問題です。南那珂地区の漁業就業者数は平成10年の1,669人から平成20年には1,173人に減少し、高齢化も進行しています。このような中、漁業後継者を確保しようと、漁業者による地元小中学校での水産教室や漁業研修生受け入れなど

が行われています。家族が水産業の従事者などのケースを除き、子どもたちが漁業を身近に感じる機会はなかなかありません。これらの地道な活動が、やる気のある新規就業者確保のきっかけとなることが期待されます。また自然が相手である漁業。経営の安定も重要な課題です。漁具の改良と機械化による効率的な漁獲、県内のスーパーとの連携による単価向上など、新しい戦略が次々と試みられていることも分かりました。また漁場を保全する取り組みとして、漁業者が中心となっていく磯焼け対策の活動も印象的でした。さて、このような漁業現場でのさまざまな活動を目にし、また毎日新鮮な獲れたての魚介類を食べていると、東京での生活を思い起こしながら、流通や消費サイドの意識にも変化が必要だと強く感じます。今日の食生活においては、調理が簡単で骨がなく安易に食べられる食材などが好まれる傾向にあり、食糧自給率も低迷していますが、豊かな海に囲まれた日本には、新鮮でおいしいお魚があるのですから、一人ひとりが意識を高め上手にそれらの消費を促進することが、必要不可欠だと強く感じました。最後になりましたが、1カ月に渡り受け入れてくれた川崎家の皆さまをはじめ、串間市役所、南那珂農林振興局などのお世話になった方々に御礼を述べるとともに、本研修での経験を今後の仕事にしっかりと活かしていきたいと思っております。

想
随想



Profile

みしま まり
(30歳)

東京都杉並区出身。筑波大学、東京大学大学院、ウーロンゴン大学大学院(オーストラリア)を経て東京大学大学院新領域創成科学研究科博士後期課程修了。平成22年農林水産省入省。現在水産庁資源管理部国際課にて、まぐろ類の国際協定に関する業務などに携わる。

イベントのお知らせ

忘年会・新年会で鍋三昧

今年の冬は4種類の鍋をご用意。それぞれの味をお楽しみください。



すき焼



トマト鍋

- 豚と白菜のコラボ鍋 お一人さま2,000円(税込)
- 温泉鍋 お一人さま2,500円(税込)
- トマト鍋 お一人さま2,500円(税込)
- 京風すき焼 お一人さま3,000円(税込)

※内容や料金の詳細についてはお問い合わせください。



〒888-0008 串間市大字本城987 TEL 0987-75-2000 FAX 0987-75-2280
■営業時間：午前10時～午後10時 ■定休日：毎月第3水曜日

アラカルトメニュー

ご予約に応じて、いろいろなメニューを準備しています。
■バイキングコース(10人以上～) 大人お1人さま1,580円(税込)
～バイキング形式で10種類以上の大皿がつかます。大人もお子さまも楽しめるコースです。

メニュー例=鶏のから揚げ、お刺身、パスタ、ピザ、焼きそば、サラダ、チキン南蛮など

- 会席料理 お一人さま2,500円～(税込)
～小鉢、お造り、揚げ物、酢の物、釜飯、壺物、デザート
- 秋田きりたんぼ鍋 3,000円
- 大阪名物うどんすき 3,500円
- 熊本キジ鍋 3,500円

※上記3つの鍋については、現地調達の関係により1週間前の予約が必要です。

休館日なしのお知らせ

12月は休館日なしで営業致します。

読者プレゼント
お便りをくださった方から抽選で、入浴券を10名様にプレゼント。
※大浴場をご利用の場合は、入湯税150円が必要です。露天風呂は入湯税は必要ありません。
応募締切は12月31日(当日消印有効です。)

串間市観光協会
赤池事業所のみなさん



4月に誕生した串間市観光協会赤池事業所(牛島正弘所長6人)。赤池渓谷を蘇らせようと奔走する毎日です。駐車場や歩道などの整備も進み、利用しやすくなりました。また、野外コンサートを開くなど集客力アップにも尽力。現在は「赤池を紅葉の名所に」との思いで植樹祭を企画・準備中です。キャンプ場にはスタッフ2名が常駐し、渓谷をガイドしてくれるとのこと。もちろん無料。「リフレッシュにぜひ、おいでください」と皆さんのお越しをお待ちしています。

市民憲章

- わたしたちは、
1. 豊かな自然を大切に、これをいかしましょう。
 1. お互いを信じ、心をあわせ、平和で明るいまちをつくりましょう。
 1. 健康で働くことに誇りをもち、豊かな住みよいまちをつくりましょう。
 1. だれにも親切にし老人をいたわり、子どもに夢と、しあわせをあたえましょう。
 1. 教養を高め文化のまちをつくりましょう。

◎市の木/そてつ ◎市の花/かなな
◎市の鳥/めじろ ◎市の花木/山桜
◎人口 20,129人
男 9,283人 女 10,846人
世帯数 8,395世帯

(平成23年11月1日現在)
*平成22年国勢調査からの推計人口です。

FROM EDITOR'S

串間人の力を感じる1カ月でした。海抜表示サインの設置の取材や地域創造計画の話の中で何度も、串間の市民活動は優れているとの評価を聞くことができました。この力があればきっと串間を良くしていくことができると感じています(ナ)

編集後記は意外と難しい。思いのまま綴ると難なく字数を超過。そこから語句を理解可能最小限まで削ぎ落とし、言い換えの表現を探していく。限られた中、選択と集中が必要だ。その潔さを日常に生かせたらと思うこのごろ(サ)

おたよりお待ちしております

◎この広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、医療講座に関する質問、串間市への思い、あなたの身近な出来事、何でも好きなことを書いてください。

↓点線に沿って切り取り、官製葉書に貼り付けてお使い下さい。

888-8555
串間市役所総合政策課
情報政策係 行

(No.900/2011.12)

◎ご氏名
フリガナ

年齢/ 歳 性別/ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所

電話 ()

2011年12月1日発行（毎月2回1日・15日発行）

発行／串間市役所

編集／総合政策課情報政策係

〒888-8555 宮崎県串間市大字西方5550番地

TEL 0987-72-1111 FAX 0987-72-6727

http://www.city.kushima.lg.jp/

Eメール : info@city.kushima.lg.jp

印刷／(有)志布志新生社印刷串間支店



ゆうゆうの森園庭にて

うた

ごよみ

「俳句」あさひ俳句会選

ひねもすを海見つめをりつわの花

一病の機嫌不機嫌冬隣

硝子戸の日射し豊かや小鳥来る

掌てに乗せし葉の数や冬隣

夕焼けに急ぎて帰るトンボ群れ

八ヶ谷…川崎 永伯

寺里…谷口 秀子

仲町…藤原 淑子

上町…神戸 和子

都井迫…松野 修子

「短歌」串間さざなみ歌会選

水しぶきイルカの芸に拍手する人の言葉で舞踊りたり

さくさくと霜柱ふみ「新聞」と郵便受けに男子わのこが落とす

秋風に乗って来たのかあかトンボそろり解けゆく落ち陽の中に

寝たきりの夫つま聞き入る虫の声暮れ行く秋に赤とんぼ舞う

故郷を訪えば幼なじ知る人も逝きて在らざり我の帰去来

本町…中野 良子

東塩町…越中谷 祥子

埼玉…山崎 良平

寺里…甲斐 勝子

寺里…山崎 百合子

*短歌、俳句の投稿は

■短歌 山崎 百合子さん (☎72-2620)

■俳句 本田 幾男さん (☎72-5280)